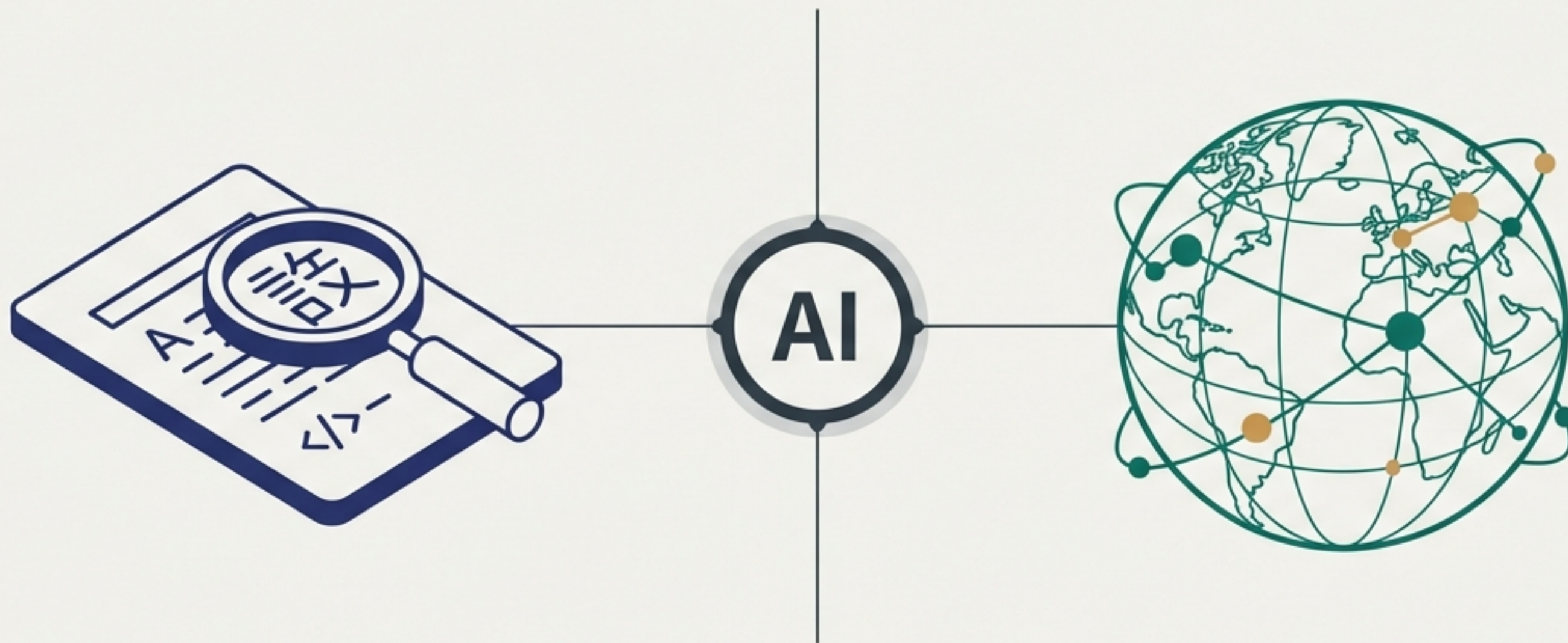


FTO調査ワークフロー比較研究：Summaria と PatSnap Eureka

医療機器・グローバル展開を見据えた特許クリアランスのAI活用戦略



エグゼクティブサマリー：グローバル展開と日本語解析の「ハイブリッド運用」が最適解

PatSnap / Eureka = FTOの「バックボーン」

172法域の特許・NPL（非特許文献）をカバーし、FTO専用の「検索→クレームマッピング→法的状態確認」を一気通貫で自動化するプラットフォーム。

Summaria = 日本語特許の「精読スペシャリスト」

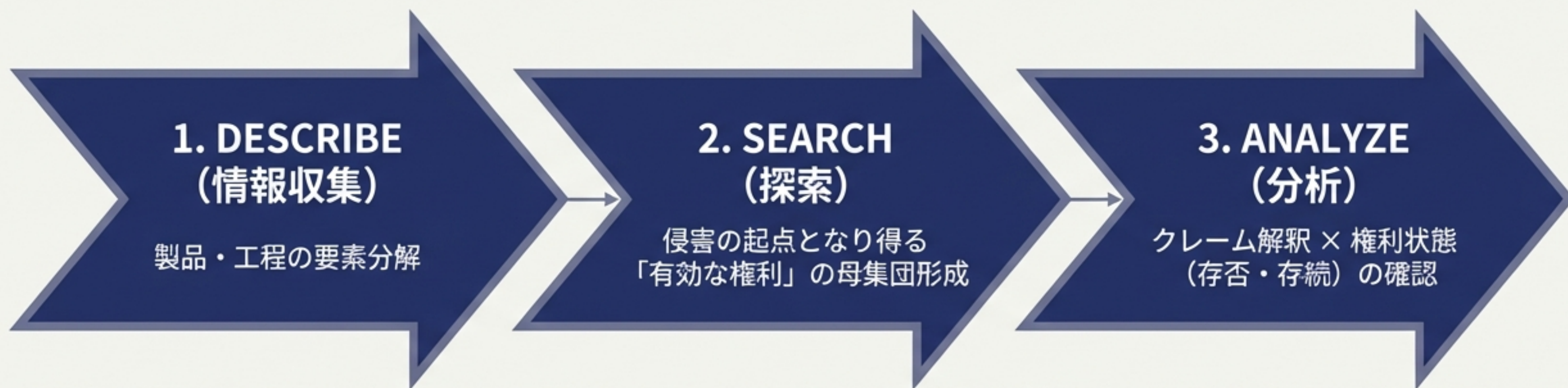
AIによる検索式作成支援と、高速なスクリーニング（査読）に特化。「なぜこの特許を選んだか」という理由説明能力に優れる。

結論

どちらか一方への完全移行ではなく、Eurekaを母集団ハブとし、Summariaを詳細調査に用いる「二層構造」が、リスクと工数のバランスを最大化する。

課題定義：現代のFTO（侵害予防調査）に求められる要件

FTOは単なる「検索」ではない。製品（WHAT）×法域（WHERE）×時点（WHEN）を定義し、リスクを監査可能にするプロセスである。



The Gap（課題）

従来の手法では、「法的状態（Legal Status）の確認」と「監査証跡（Auditability）」が手動であり、不確実性と更新コストが高い。AIツールにはこのギャップの解消が求められる。

ツール概観と設計思想の比較



Summaria (The AI Reader)

- 役割：調査支援・特許読解アシスタント
- 強み：日本語特許の深層読解、ノイズスクリーニング、説明可能性（Explainable AI）
- 特徴：AIが検索式と母集団を自動作成する「調査支援ツール」＋「AIスクリーニング」の二段構え
- 制約：「権利属否」等の法的見解は提供しない（判断は人間に委ねる設計）



PatSnap / Eureka (The Global Agent)

- 役割：グローバルR&D・知財プラットフォーム
- 強み：172法域のデータ規模、NPL、エンドツーエンドのワークフロー自動化
- 特徴：「FTO Search AI Agent」が、技術説明入力からクレーム比較・レポート生成までをフロー化
- 制約：日本語特有の細かいニュアンス読解よりも、グローバルな構造化データを重視

評価フレームワーク：実務に基づいた10の評価軸

WIPOの基準および日本の弁理士実務論考に基づき、以下の10軸で比較を行う。



検索・データ (Search & Data)

- 1. 検索ワークフロー
- 2. データカバレッジ
- 3. 検索精度と再現性



分析・評価 (Analysis & Evaluation)

- 4. フィルタ・絞り込み
- 5. 無効化/リスク評価支援



出力・管理・導入 (Output, Management & Implementation)

- 6. レポート作成・エクスポート
- 7. トレーサビリティと監査
- 8. 操作性と学習コスト
- 9. 価格・ライセンス
- 10. セキュリティ・データ保護

詳細分析①：検索ワークフローとデータカバレッジ

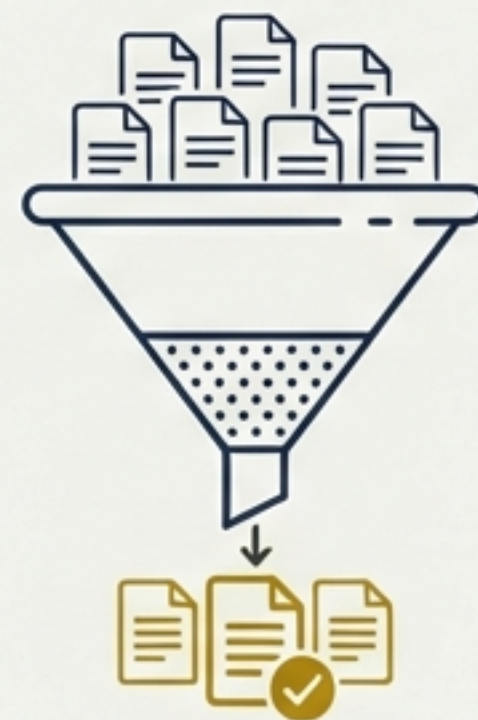
PatSnap / Eureka: Global Breadth

- **カバー範囲**：172法域の特許データ、2億件超の非特許文献（NPL）、法的データ（訴訟・無効化）
- **ワークフロー**：技術説明から特徴を抽出し、多段検索（セマンティック・分類・キーワード）を自動実行
- **評価**：グローバルな「母集団形成」に最適



Summaria: Japanese Depth

- **カバー範囲**：日本特許を中心とした実務に強み（日次更新）
- **ワークフロー**：AIが検索式・検索集合を自動生成。特許検索競技大会の過去問検証では、上位100件で再現率85%以上を達成
- **評価**：「調査支援ツール」として、検索式の作成からスクリーニングまでの工数削減に貢献



詳細分析②：分析およびリスク評価支援のアプローチ

AIによる「出力」の決定的な違い

Summaria（判断支援）



- 出力：各文献に対する「関連度スコア」「選定理由」「相違点」を文章で提示
- スタンス：最終判断の材料を提供するが、法的結論（侵害か否か）は明示しない
- メリット：「なぜ」選ばれたかが分かるため、人間の査読（Human-in-the-loop）が容易

PatSnap / Eureka（結論提示）

Claim Chart	
Product Feature	Patent Claim
_____	_____
_____	✓ SAFE
_____	✗ RISK
_____	_____

- 出力：Claim Mapping（クレーム構成要件の対比表）、Legal Status（法的状態）、Infringement Risk Conclusions（侵害リスクの結論）
- スタンス：FTO専用エージェントが、侵害リスクの結論までをドラフトする
- メリット：権利状態（Live/Dead）が統合されており、即座にリスク判断が可能

詳細分析③：レポート作成と監査証跡（トレーサビリティ）

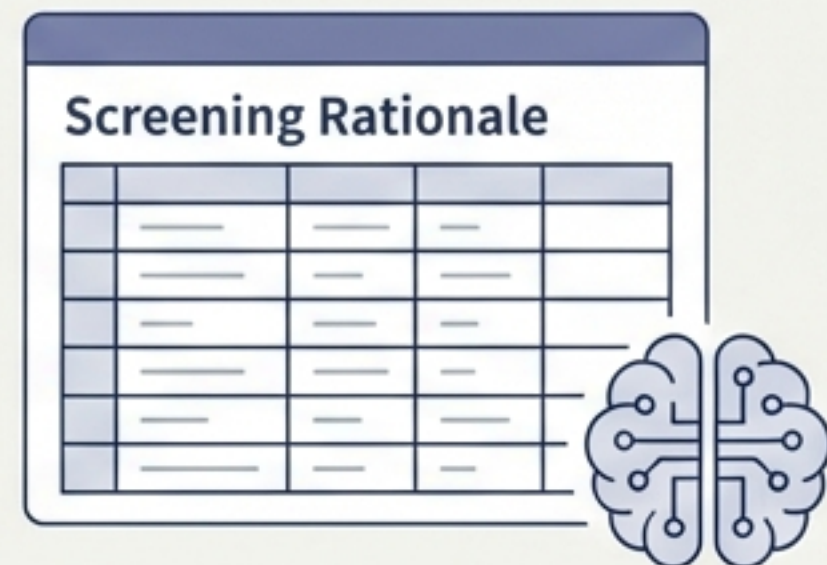
FTO調査は、後日の訴訟リスクに備え「いつ、何を、どう調査したか」の再現性が必須。

PatSnap / Eureka



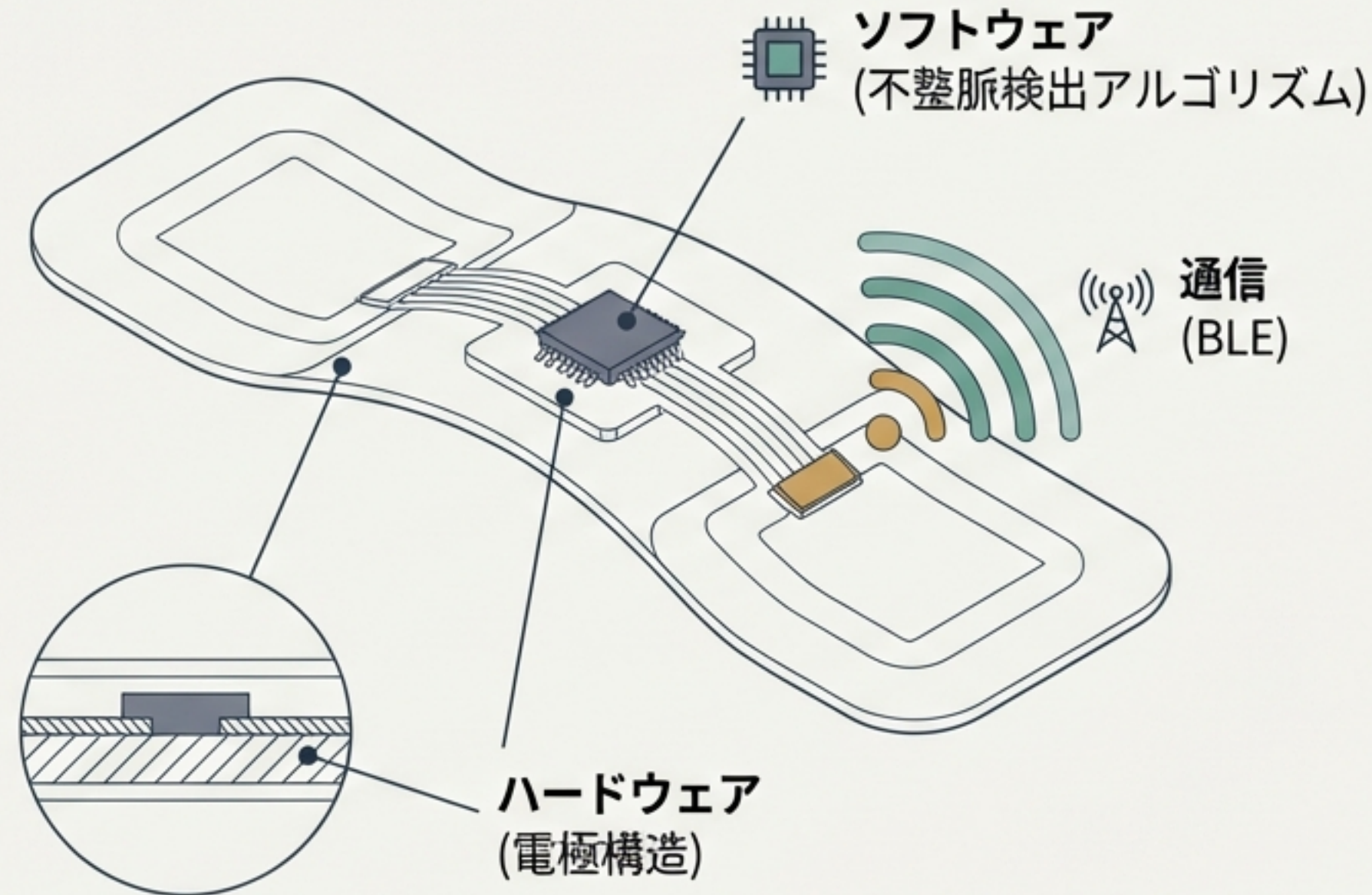
- 「Create Report」機能により、クレームチャートを含む FTO レポートを生成可能。
- Workspace 機能での共有、内部操作ログの取得が可能。

Summaria



- 評価結果・理由のリスト化。スクリーニング過程で「人手調整なし」での高精度化を目指す検証結果あり。
- 検索式・検索集合の自動生成プロセス自体が証跡となるが、バージョン管理等は運用ルールでの補完が必要。

実証シナリオ：医療機器「貼付型ワイヤレス心電パッチ」



製品 (WHAT)

在宅向け・常時計測可能な心電（ECG）パッチ。

市場 (WHERE)

日本市場への投入。将来的には北米・欧州へ展開。

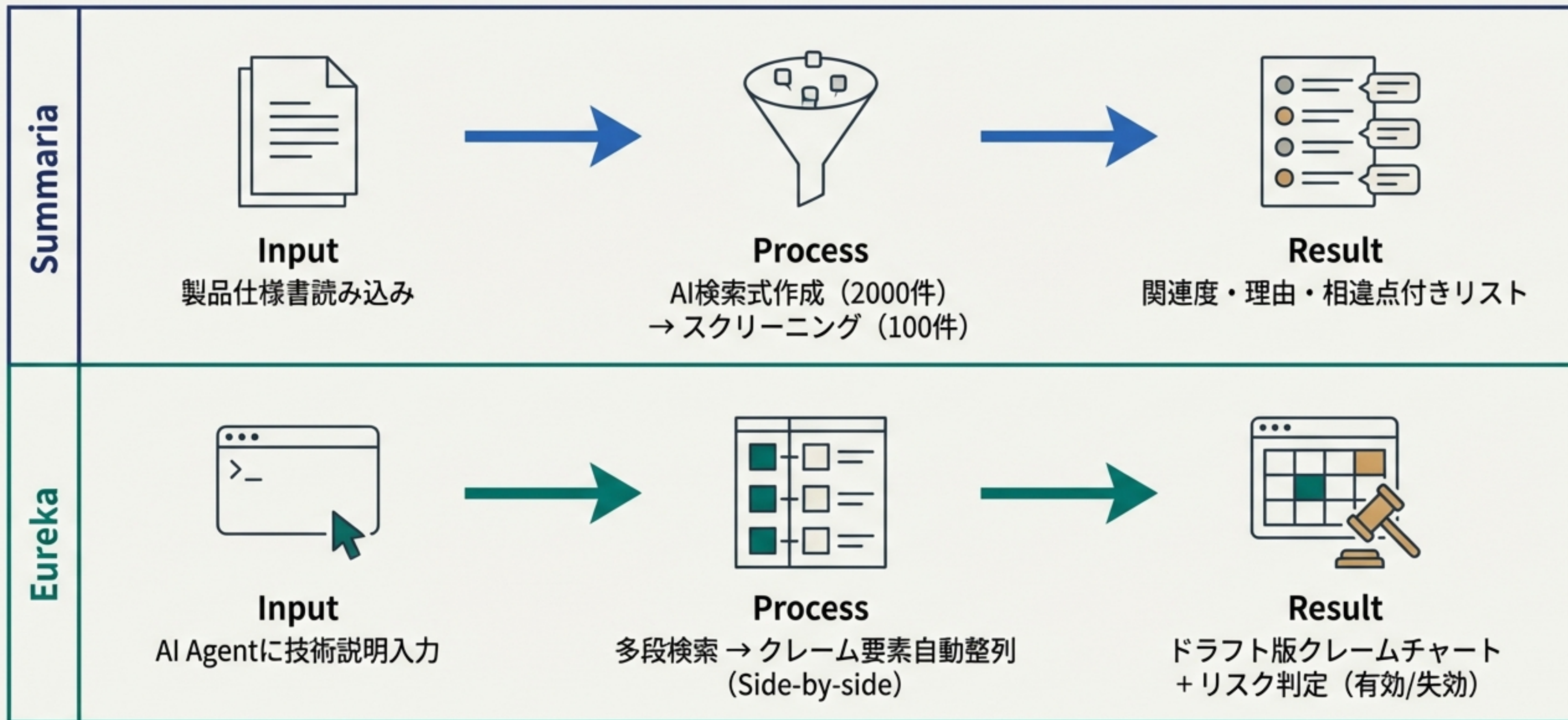
課題

ハードウェア、ソフトウェア、通信が混在し、調査範囲が広い。多法域での権利監視が必要。

Goal

この複雑な製品に対し、両ツールがどうアプローチするかを比較する。

ワークフローシミュレーション：入力から結果まで



セキュリティとデータ保護：エンタープライズ基準への適合

PatSnap



ISO 27001:2022 認証 / SOC 2 Type 1
Trust CenterにてGDPR/CCPA対応
顧客データでのAI学習不使用

Summaria



ISO 27001 (ISMS) 取得告知
情報セキュリティ方針公開



Takeaway: 適切な設定（暗号化、オプトアウト確認）を行えば、企業利用における安全性は確保されている。

推奨戦略：強みを組み合わせた「二層構造アプローチ」

Tech Stack

Layer 2: Deep Dive Specialist (Summaria)

役割: 日本語詳細調査。

用途: 日本市場向け製品の「深層読解」。大量の検索集合からの「理由付き」スクリーニング。

Synergy

Eurekaで「漏れのない母集団」を作り、
Summariaで「説明可能な精査」を行うことで、再
現率と適合率を同時に最適化する。

Layer 1: Global Backbone (PatSnap / Eureka)

役割: 母集団ハブ。グローバル特許・NPL・法的情報の管理。

用途: 広範囲な検索、権利状態 (Legal Status) の確認、FTOレポートの雛形作成。

運用実装ガイド：監査証跡と責任分界



Audit Design（監査設計）

検索式（プロンプト）、検索日、除外基準、クレームチャートを「案件台帳」に固定保存する。



Human-in-the-Loop（人の役割）

AIの役割: 判断材料（理由・相違点・ドラフト）の提示。

専門家の役割: 法的判断

（Opinion）。Summariaが「法的見解を提供しない」点は、責任分界を明確にする上でむしろ利点となる。



Update Cycle（継続監視）

FTOは一過性ではない。PatSnapのアラート機能を活用し、特定したリスク特許のステータス変化（無効化・期間満了）を追跡する。

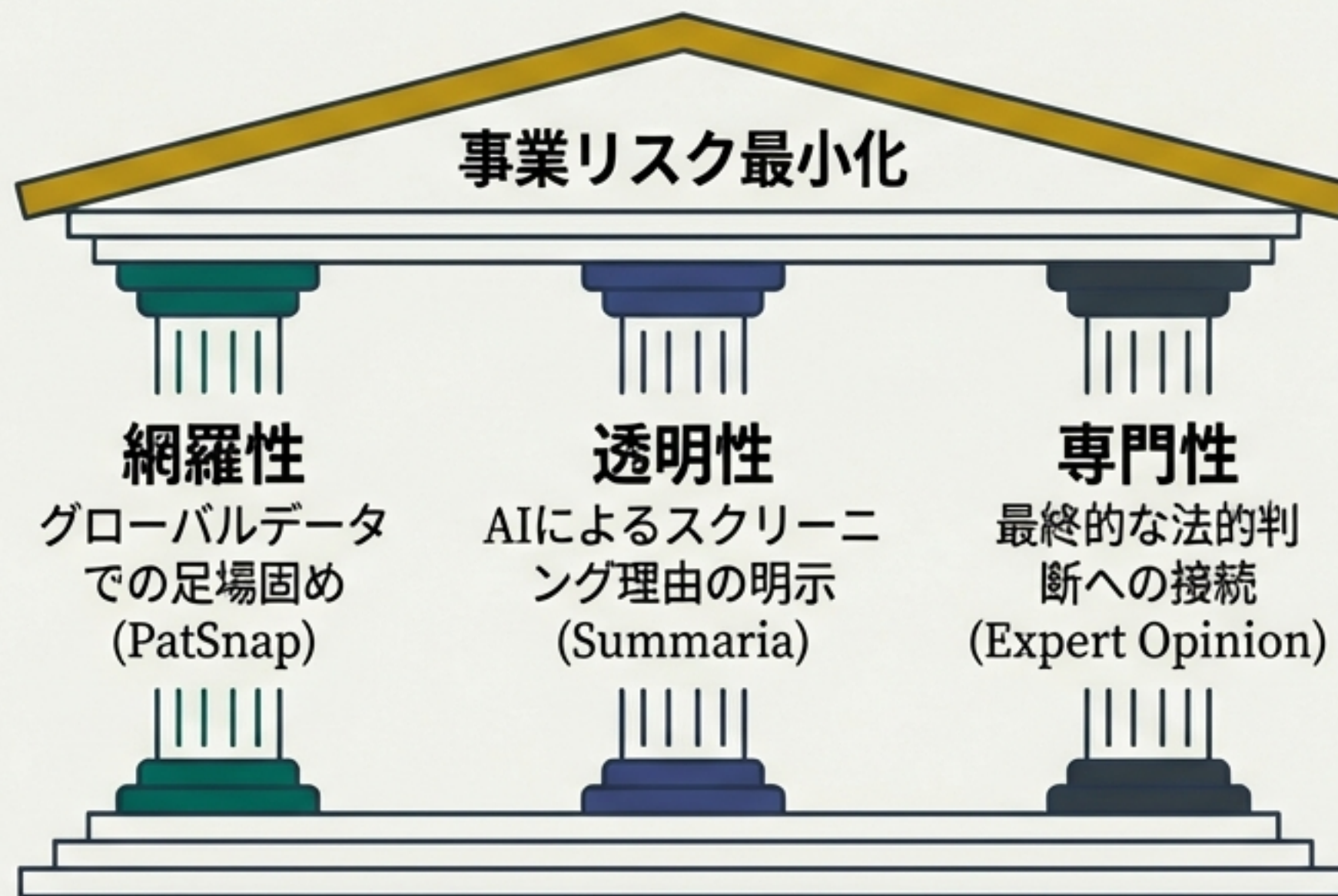
ツール別強み・留意点まとめ

	⊕ Pros	⊖ Cons
Summaria	日本語のニュアンス読解力、スクリーニング速度、理由の説明能力。	法的結論（侵害判断）は非提示。グローバル全域の法的ステータス管理は別途必要。
PatSnap / Eureka	圧倒的なデータカバレッジ（172法域/NPL）、エンドツーエンドの完結性、権利状態の統合。	日本語特有の超微細な差異の読解における柔軟性（対Summaria比）。



Decision Matrix: グローバル展開が必須ならPatSnapが基盤。日本国内の精緻な調査頻度が高いならSummariaの追加が効果的。

結論：不確実性を管理する「監査可能なパイプライン」の構築を



Call to Action: FTO調査に「魔法のボタン（全自動の法的保証）」は存在しない。
これらを統合し、説明責任を果たせるFTOプロセスを構築することが重要である。